

2016年(平成28年)度 第3回常務理事会議事録

日時：2016年(平成28年)6月13日(土) 13:00～16:30

場所：東京医科歯科大学MDタワー18階 小会議室

出席者：藤本豊土(理事長)、岡部繁男、寺田純雄、仲嶋一範、渡辺雅彦(以上、常務理事)、松崎利行、阪上洋行(以上、常任幹事)、片桐 淳、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

以下の議事録が確認され了承された。

- (1) 2016年(平成28年)度第2回常務理事会(平成28年3月27日開催)議事録(案)
- (2) 2016年(平成28年)度第2回理事会(平成28年3月27日開催)議事録(案)
- (3) 2016年(平成28年)度定時社員総会(平成28年3月29日開催)議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通りに報告された。

平成28年3月分

入会者：正会員 3名

退会者：正会員 21名、学生 1名、名誉会員 2名

平成28年4月分

入会者：正会員 2名、学生 2名

退会者：正会員 5名、学生 1名、名誉会員 1名

平成28年5月分

入会者：正会員 2名

退会者：正会員 2名

逝去会員 3名

芝田大三氏(金沢医科大学・名誉教授/名誉会員)平成27年11月13日逝去(享年84)

中島將行氏(正会員)平成28年1月27日逝去(享年84)

金関毅氏(旧佐賀大学・元副学長/名誉会員)平成28年3月5日逝去(享年90)

新規就任教授

本田雅規先生(愛知学院大・歯・口腔解剖学・教授・平成27年4月1日就任)

内藤宗和先生(愛知医大・解剖学・教授・平成28年4月1日就任)

近藤洋一先生(大阪医大・生命科学・解剖学・教授・平成28年4月1日就任)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

① 通知・依頼：(独)日本学術振興会より「育志賞受賞候補者の推薦について」他49件

② 書籍・定期通信 他：NPO医学中央雑誌刊行会より「医学中央雑誌収録目録2014」他17件

(3) 平成28年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき、平成28年度支部学術集会の開催予定が報告された。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、主に第121回日本解剖学会総会・全国学術集会時に開催された各種委員会での議事内容が報告された。そのなかで、編集委員会での和文誌の今後の編集方針に関する議事内容について意見が交わされ、和文誌の発行回数(年1回)への変更について編集委員会で検討してもらうこととした。

(5) 日本外科学会「ガイドライン検討委員会」委員改選について

資料に基づき、寺島俊雄先生の後任委員として、弦本敏行先生(長崎大学)を本学会から推薦したことが報告された。

(6) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会第14期第2回運営委員会(平成28年3月31日開催)での議事内容が報告された。

(7) その他

- ・平成28年熊本地震への対応について

資料に基づき、平成28年4月に発生した熊本地震に際して、本学会として、被災された学会員へのお見舞いととも学会や同じ分野の研究者へのご要望の受付を学会ホームページに掲載し対応していることが報告された。

2. 編集報告（岡部編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌(91巻3号)とASI(Vol. 91 No. 3)が平成28年6月2日に発送されたこと、解剖学雑誌(91巻4号)とASI(Vol. 91 No. 4)が9月に刊行予定であることが報告された。

(2) A S I 購読状況及びロイヤリティについて

シュプリングー・ジャパン(株)からのASIの購読、著作権に伴う解剖学会への著作権支払い額(461,153円)に関する通知内容が報告された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（仲嶋企画渉外担当理事）

(1) 平成28年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について

資料に基づき、平成28年度日本解剖学会奨励賞の公募および認定解剖組織技術者功労賞候補者の推薦に関する要項が報告された。昨年度との変更点として、奨励賞応募資格において出産や育児のため研究を離れた場合には年齢制限該当の有無に関わらず該当期間の申請書への記載を求めている点に関して説明された。

(2) 平成28年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、平成28年度認定一級技術者資格試験の募集要項が説明された。本年度より審査対象として提出を求める手技のCDまたはDVDでの撮影方法等の詳細は、申請書の受理後に事務局より個別に通知することとした。平成29年度以降については、募集要項にその旨を明記することとした。

(3) 認定二級技術者審査結果について

資料に基づき、1名の認定二級技術者資格審査の合格の判定結果が報告された。

(4) 第121回日本解剖学会総会・全国学術集会アンケート集計結果について

資料に基づき、大会開催中に実施した第121回日本解剖学会総会・全国学術集会に関するアンケート集計結果と第3回男女共同参画推進委員会企画ランチョンセミナーでの「男女共同参画の現状と今後」に関するアンケート集計結果が報告された。

(5) 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、大会準備状況が説明された。大会期間中の宿泊施設の予約の困難が予想されるため、大会主催者側で宿泊施設を前もって確保する予定であること、日本生理学会と大会日程が重複するため、生理学会との連携シンポジウムの候補者選定や日時の設定にあたって調整が必要であることが報告された。

(6) 2020(平成32)年度総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、2020(平成32)年度総会・全国学術集会開催希望募集の要項が報告された。東京オリンピック開催に伴い、特に首都圏は会場等の確保が困難になる可能性も考慮しておく必要があることが説明された。生理学会との合同大会の開催の可能性も考慮して進めることとした。

(7) 日本脳科学関連学会連合報告

次期日本脳科学関連学会連合の代表として、岡部繁男先生（東京大学）が選出されたこと等が報告された。

(8) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、熊本地震における教育研究機関への緊急財政支援の政府への要望に関する声明と第13回定例会議（平成28年3月5日開催）での議事内容が報告された。

(9) 日本医学会報告

資料に基づき、第2回日本医学会連合財務委員会（平成28年4月26日開催）の議事内容が報告され、本年度の会費は据え置きの方で検討されていることが報告された。また、医学会連合の学術シンポジウム共催支援制度の活用に関して精査検討することとした。

(10) IFAAについて

資料に基づき、代表選挙の投票方法などの議案の投票結果に関するIFAAからの通知内容が報告された。

(11) 8thAPICAについて

資料に基づき、シンガポールで開催された第7回APICAの際に行われた会議について、Gopal会長が作成した議事録案が紹介された。会議内容に関して、藤本理事長がAPICA組織の登記の必要性と創設メンバー選定の妥当性について照会するメールを送ったが、現在のところ応答がないことが報告された。

(12) その他

特になし。

4. 会計報告（寺田会計担当理事）

(1) 平成28年度中間決算書について

資料に基づき、平成28年度4月次会計報告書（平成28年1月1日～4月30日）の内容が説明され、ほぼ例年通りの収支内容であることが報告された。また、会員名簿の販売部数が低調であることより、9月発刊予定の解剖学雑誌での投げ込み広告や支部学術集会での販売促進を行うこととした。

(2) その他

資料に基づき、情報技術委員会で検討中の英語版ホームページ掲載内容等が報告され、意見が交わされた。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について（庶務）

資料に基づき審議の結果、一般会員7名、学生会員2名の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について（庶務）

資料に基づき、教授就任による代議員の申請者3名について審議の結果、承認された。

3. 休会制度創設について（庶務）

資料に基づき、留学や産休・育休に伴う休会制度案を審議した結果、①休会期間は会員歴に通算しないこと、②導入時点で休会制度に該当する会員に対して遡及適用は行わないこと、③休会申請期間に関しては、休会希望の前年度12月までに届け出ることが了承された。

4. 第122回総会・全国学術集会における会務見直しについて（企画渉外）

資料に基づき、監査人に変更の必要性を指摘された役員改選時の役員会の進め方に関して審議された。社員総会で選任された新理事の任期の開始時期（定時社員総会終結後）と、新理事会による理事長及び常務理事の選出時期（総会開催中）との整合性に関する意見が出され、監査人に再度問い合わせ、検討することとした。

5. 第122回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査について（企画渉外）

資料に基づき、委員会主催のワークショップ・シンポジウム助成申請内容を審査した結果、男女共同参画推進委員会による「男性会員から見た男女共同参画推進」、学術委員会による「臓器連関の解剖生理学」、教育・若手育成委員会の「若手育成の現状と課題について」の3件の助成が承認された。

6. 認定技術者の認定基準について（企画渉外）

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会から指摘された認定二級細胞組織技術者の資格事項における「組織標本の作成業務」に対する解釈について審議された結果、解剖学とともに病理学の組織標本の作成業務も従事経験として含めることで了承され、今後の審査の判断基準として申し送ることとした。

7. 日本顕微鏡学会との連携について（理事長）

資料に基づき、日本顕微鏡学会の学会連携担当理事、成田哲博氏からの両学会間の学術講演会、シンポジウム、各種講習会、サマースクールなどのホームページを介した情報の共有による連携の依頼について審議された結果、了承され、仲嶋企画渉外担当理事が窓口となることになった。

8. その他

特になし。

第5回常務理事会・第3回理事会の開催日程が、12月17日(土)から11月26日(土)に変更することとなった。